

船舶事故調査報告書

平成22年5月13日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成22年2月25日11時42分ごろ、本船が発見された。）
発生場所	不明（本船が発見された場所は、大分県佐伯市屋形島洲ノ鼻消波堤灯台から真方位148°1,500m付近（概位 北緯32°46.2′ 東経131°55.0′）であった。）
事故調査の経過	平成22年3月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{きんこう} 金光丸、0.6トン OT3-54639（漁船登録番号）、個人所有 6.30m(Lr)×1.76m×0.53m、FRP ガソリン機関（船外機）、30kW（漁船法馬力数）、昭和61年12月2日
乗組員等に関する情報	船長 男性 81歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和51年6月25日 免許証交付日 平成20年10月16日 (平成26年8月3日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船首部破損
事故の経過	本船は、平成22年2月25日07時00分ごろ、船長1人が乗り組み、建網漁の目的で、佐伯市蒲江漁港を出港し、屋形島付近の漁場に向かった。 船長の親族は、帰航予定の10時を過ぎても本船が帰航しないため、所属漁業協同組合（以下、単に「漁協」という。）と相談し、11時24分ごろ、漁協が佐伯海上保安署に捜索を要請するとともに、僚船も捜索に参加した。 漁協職員が乗船した僚船は、11時42分ごろ、屋形島洲ノ鼻消波堤灯台から真方位148°1,500m付近の屋形島南岸の岩場に転覆した状態で乗り揚げた本船を発見したが、時化のためそこに近づくことができず、屋形島北岸に接岸して漁協職員が陸行し、12時40分ごろ、本船が乗り揚げた場所に到着したところ、本船近くに倒れていた船長を発見した。 船長は、ヘリコプターで佐伯海上保安署に搬送され、溺死と検案された。

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 6、視界 良好 海象：波高 約2～3m、潮汐 上げ潮の中央期、水温 約17℃ 大分地方気象台は、大分県南部（佐伯市）に対し、2月24日20時20分に強風・波浪注意報を発表し、事故当時、強風・波浪注意報は継続されていた。</p>	
<p>その他の事項</p>	<p>本船は、和船型漁船で、航海計器は装備されていなかった。 船長は、体調不良を訴えていなかった。 船長は、救命胴衣を着用していなかった。</p>	
<p>分析</p>	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 あり 船長の死因は溺死であった。 船長は、本船が屋形島南岸沖において、救命胴衣を着用せずに落水した可能性があると考えられるが、落水した状況については、明らかにすることができなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が屋形島南岸沖において、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>	